

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	臨床栄養学	1	30	1年次 前期～後期	京都第二 赤十字病院 管理栄養士
テキスト(発行所)	栄養学 (医学書院) 糖尿病食事療法のための食品交換表 (日本糖尿病協会) 栄養食事療法 別巻5 (医学書院)				

学習のねらい	臨床栄養学の基礎的知識をふまえ、対象の健康段階に応じた食事指導のための基礎的知識を理解する。
学習目標	1. 人間栄養学と看護の関係、栄養補給法について理解する。 2. 栄養素の種類と働き、エネルギー代謝について理解する。 3. 栄養状態の評価判定について理解する。 4. ライフステージと栄養について理解する。 5. 健康障害に対する食事療法について理解する。

学習スケジュール		
回数	主題	学習形態、他
1回	人間栄養学と看護 栄養状態の評価・判定	講義
2回	栄養素の種類と働き(炭水化物・脂質・タンパク質)	
3回	栄養素の種類と働き(ビタミン・ミネラル・水・食物繊維)	
4回	栄養素の種類と働き・エネルギー代謝	
5回	栄養ケア・マネジメント(スクリーニング・アセスメントプラン・実施・モニタリング)	
6回	栄養状態の評価・判定	
7回	ライフステージと栄養 (乳児・幼児・学童・青年・成人各期)	
8回	ライフステージと栄養 (妊娠・授乳・更年期・高齢各期)	
9回	病人食の特徴と種類・栄養食事療法	
10回	栄養食事療法(消化器系疾患)	GW
11回	栄養食事療法(腎疾患)	GW
12回	栄養食事療法(循環器系疾患)	GW
13回	栄養食事療法(栄養代謝系疾患-糖尿病)	GW
14回	栄養食事療法(栄養代謝系疾患-高脂血症・高尿酸血症) (血液疾患-貧血症)	講義
15回	栄養食事療法(精神神経疾患・術前術後の栄養管理・ 妊産婦・小児疾患・高齢者の栄養と食事)	
単位認定の方法	1. 臨床栄養学30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 終講試験で60点以上で合格とする。	